

宇田哲郎

うだ・てつろう

広島県議会議員

経歴

生:昭和5年(1930年)1月3日、広島県沼隈郡水呑町(現福山市水呑町)生まれ

没:平成4年(1992年)5月20日、享年63歳

—	—	水呑小学校卒業
昭和21年(1946年)3月	16歳	広島県立福山誠之館中学校卒業
—	—	早稲田大学第二高等学院卒業
—	—	早稲田大学法学部卒業
—	—	早稲田大学大学院修士課程終了
昭和30年(1955年)4月	25歳	広島県議会議員(以来4期)
昭和55年(1980年)4月	50歳	福山市議会議員(以来3期)
—	—	宇田組顧問
—	—	自由民主党全国青年議員連盟会長
—	—	広島県議会監査委員
—	—	広島県議会警察商工労働委員長

生い立ちと学業、業績

広島県会に25才のとき当選し、最年少議員として全国的にその名を知られた宇田哲郎氏は、昭和34年(1959年)4月の改選にも当選、年令的にも人間的にも、漸く少壮有為の材と成長している。

氏は昭和5年(1930年)沼隈郡水呑町(現福山市水呑町)に生れ、福山誠之館中学校を経て早稲田大学政治科を卒業、その父君宇田恒氏が壮年で衆議院議員となった血をそのままに受けて、昭和30年(1955年)4月、まず沼隈郡から県会選挙に打って出で、直ちに当選したものである。

県会における活躍はさることながら、氏のめざすのは中央政界であることは自他共に認めると

ころとなっている。

ソビエト視察県議団の一員に選ばれてモスクーその他各都市に赴き、また東南アジアの視察に単独で外遊するなど、国際的視野を広めつつある。

中央政界進出の素地は着実にできている。

鋭才明敏が、氏の人柄を一言で評価する言葉であろう。

土木建築株式会社宇田組顧問として、父君宇田恒氏(宇田組社長)と協力、事業方面にも俊敏な腕を見せている。

趣味は読書、囲碁。

出典1:『政治産業文化備後総合名鑑』、119頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年6月

出典2:『自治行政大観 新日本人文録(広島県人国記)』、578頁、地方自治調査会編刊、昭和41年11月30日

2005年3月14日更新:出典●2006年4月3日更新:タイトル・経歴●2006年5月23日更新:連絡先(削除)●2008年2月6日更新:経歴・本文●2008年6月20日更新:経歴●